

田辺市議会だより

発行 / 田辺市議会

編集 / 広報委員会

平成26年
(2014年)

5 月号



4月15日 熊野本宮大社例大祭

3月定例会

平成26年度一般会計予算などを可決

平成26年3月定例会は、2月27日に開会し、3月25日までの27日間の会期で開催され、堺市との友好都市提携についてをはじめ、平成26年度一般会計・特別会計等の当初予算など、市長提出議案51件を全て原案のとおり可決しました。

このほか、市長専決処分事項の報告等4件の報告を受け、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて異議なしとしました。

また、本定例会では、3月11日から13日の3日間にわたり、12人の議員が一般質問を行いました。

目次

- ・議決結果の一覧
議会用語解説 …………… 2ページ
- ・一般質問 …………… 3～5ページ
- ・政務活動費収支報告
広報委員会から …………… 6～7ページ
- ・6月定例会予定
議会活動日誌ほか …………… 8ページ

QRコード

田辺市議会ホームページ
<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.html>





議決結果（主なもの）

平成 26 年 3 月定例会

件 名		採決の状況	議決結果
議 案	堺市との友好都市提携について	全会一致	原案可決
条 例	田辺市老人医療費の支給に関する条例の一部改正について	起立多数	
	田辺市消防団条例及び田辺市消防団員退職報償金支給条例の一部改正について（特定の活動に従事する支援団員制度を導入）	全会一致	
予 算	平成 25 年度田辺市一般会計補正予算（第 7 号、第 8 号）及び特別会計補正予算 7 件	全会一致	
	平成 26 年度田辺市一般会計予算	起立多数	
	平成 26 年度田辺市国民健康保険事業特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市後期高齢者医療特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市介護保険特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市分譲宅地造成事業特別会計予算	全会一致	
	平成 26 年度田辺市同和対策住宅資金等貸付事業特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市簡易水道事業特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市農業集落排水事業特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市林業集落排水事業特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市漁業集落排水事業特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市戸別排水処理事業特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市診療所事業特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市駐車場事業特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市木材加工事業特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市四村川財産区特別会計予算		
	平成 26 年度田辺市水道事業会計予算		
人事案件	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	全会一致	異議なし

● 特別会計 ●

一般会計と同じ会計で経理管理を行うと収入と支出の状況などがわかりにくいため、特定の事業を一般会計から独立させて経理管理を行う会計のことをいいます。

田辺市では 16 の特別会計を設けています。

● 一般会計 ●

日々の行政運営・行政サービスを行うために必要となる基本的な経費を処理する会計のことをいいます。

田辺市では、一般会計のほか、特別会計（左記参照）と企業会計（水道事業会計）の大きく分けて 3 つの会計があります。

議
会
用
語
解
説

事業継続計画（BCP）について 尾花 功議員

議 事業継続計画（BCP、災害時等を想定し、発生の際、重要業務への影響を最小限に抑え、仮に中断しても速やかに復旧・再開できるように策定しておく計画）の認識・現状と今後の取り組みをどのように行っていくのか。

市 災害等非常時においても業務の継続性の確保が必要であり、計画の策定は重要であると認識している。今後、国土強靱化基本法や南海トラフ地震対策特別措置法の制定を踏まえて、防災まちづくりの視点から速やかに計画策定に向け、検討を進めていきたい。

田辺市歌の制定について 中本賢治議員

議 市歌の制定については、トップの英断により節目の年に自治体で作られていることが多い。田辺市も合併 10 周年を迎えるにあたり市歌を制定してはどうか。



市 今後、大型周年事業を控え、地域が浮上する絶好の機会が訪れる中、その意義や市民の思い、考え方といったことも自然な形で把握しながら、そのあり方も含めて多角的な観点から検討したい。

移動手段の確保について 川崎五一議員

議 龍神・大塔地区では住民バスの利用が増えているが、中辺路地区では半減している。住民の状況と需要に応じて交通手段を見直す必要がある。タクシー券の助成を行ってはどうか。



市 市全域に適用できるか、地域限定で実施するとしても合理的な基準や交付対象の基準が必要である。路線バスや福祉有償輸送事業への影響も懸念され、既に実施している住民バスなどとの整合も必要で様々な課題がある。

議 できるところから試行でもよいので実施されたい。

世界遺産登録 10 周年、紀の国わかやま国体・わかやま大会に向けて 北田健治議員

議 世界遺産登録 10 周年を迎え、来年は紀の国わかやま国体・わかやま大会が開催されるが、市民の一体感をどのように醸成し、気運を高めていくのか。

市 世界遺産登録 10 周年記念式典を行うとともに、競技場も完成することから、国体の P R と連動させたオープニング記念イベント等の実施を検討している。「選択される田辺市」を目指し、一連の事業を市民と一体となって取り組むことによって気運を高めていきたい。

市独自の農地の災害復旧支援について 高垣幸司議員

議 近年、豪雨による農地災害が急増しているが、国の災害支援では一箇所の工事費が40万円以下の場合には補助対象外となることや、災害箇所の受益面積が満たされない場合などには個人負担が大きくなる。公的支援を受けられない被災農地に対し、市独自の復旧支援を制度化できないか。

市 国の災害復旧事業については、引き続き受益者負担率の軽減措置を図るとともに、補助対象外の農地については、市独自の支援策の導入を検討していきたい。

電磁波の健康被害について 松下泰子議員

議 携帯電話が必需品となってきたことから、中継基地局が急増しているが、その電磁波による健康被害に苦しんでいる人も増えている。建設許可を与える国に任せきりではなく、事業者の説明責任の基準を平準化するために市は条例を制定しないのか。

市 基地局設置に際しては、総務省近畿通信局から事業者への要請に基づき、地域住民に事前説明を行った上で合意形成が図られているので、条例制定は考えていない。



梅産業の振興について 宮本正信議員

議 基幹作物である梅は昨年、過去最高の生産量で低価格に苦しんだが、消費拡大のための対策は。また、世界農業遺産登録への意義は。

市 梅産業は本市の貴重な産業と位置づけ、これまでも多方面にわたる消費拡大策、機能性研究にも取り組んでいる。さらに世界農業遺産に登録されれば、当地の梅産業に付加価値が加わり、新たなビジネスの展開の可能性もある。関係機関と一致協力し登録に向け積極的に取り組んでいきたい。

梅干しの災害備蓄について 市橋宗行議員

議 国の備蓄ガイドで梅干しが副菜として位置づけられ、和歌山県でも5年間で30万粒の備蓄計画が策定されたが、市の内外に向けた方向性は。

市 国の備蓄ガイドについては、市長も紀州梅の会会長として、梅の機能性とともに「主菜」等に明確に掲載いただけるよう関係機関と要望を行ってきた。今回の備蓄ガイドに基づき、「南海トラフ巨大地震」の被害想定の中で、梅干しの備蓄について取り組み、市内外に積極的にPRを推進していきたい。



※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

一般質問

地域包括ケアシステムについて 小川浩樹議員

議 超高齢社会に備え、医療、介護、地域が連携しながら高齢者を支えるシステムづくりが必要になるが、その策定への道筋は。

市 医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築するには、在宅医療、在宅介護サービス提供、住環境等の整備が不可欠である。今後は高齢者実態把握調査や田辺市高齢者福祉計画策定委員会の議論などを踏まえ取り組みを進めていきたい。



被災者の住宅支援について 真砂みよ子議員

議 被災者が市営住宅に入居できる制度を創設できないか。

市 市営住宅は住宅困窮者のためのものなので、定期募集で希望のなかった空き部屋への入居は可能である。

議 国には火災被災者への減免制度がある。その精神で大規模災害だけでなく、火災被災者にも支援してほしい。被災した市民の苦しみは災害の規模とは関係がない。火災で財産をなくしても、地域でのつながりや市への信頼をなくさないよう努められたい。

集落地域の再生と旧二川小学校 校舎の有効利用について 二葉昌彦議員

議 旧二川小学校は世界遺産熊野古道沿いにあり、自然豊かな里山の学校であったが、廃校となり1年がたとうとしている。その後の利活用の取り組みはどうか。

市 廃校後、平成25年6月に地元の自治会長により旧二川小学校活用検討委員会を設立した。地域活動拠点として利用されることを最優先に検討されているが、具体的な利活用策を見出すまでには至っていない。今後も引き続き検討委員会において検討を進めていきたい。

いじめに関する第三者調査委員会 の調査報告書の提言について 久保浩二議員

議 市立中学校の不幸な事件を教訓に第三者調査委員会報告をどう実践するのか。

市 真摯に受けとめ、子供の変化に気づけるよう全教職員で対応し、いじめ問題などに全校一丸となって取り組む。

議 子供の変化に気づくためには教職員の多忙化の解消が必要ではないか。

市 行事の精選や提出文書の削減などを行い、教師の負担軽減に努める。

議 学習に困難を抱えている子供に対し、特別な学習支援の体制が必要ではないか。

市 支援員の拡充とあわせて、支援の充実に取り組む。

政務活動費収支報告

《平成25年6月～平成26年3月》

政務活動費は、地方自治法に基づき、「田辺市議会政務活動費の交付に関する条例」を定めて、議員の調査研究その他の活動に資するための必要な経費の一部として交付されます。

当市では、会派に対して、会派の所属議員数に月額2万円を乗じた額が支給され、全ての支出に対し領収書を添付するよう義務づけています。

また、会派の代表者は、年度ごとに収支報告書を作成し、残余金が生じた場合は返還しています。

第三次田辺市議会議員の任期が開始となり、政務活動費の交付期間となった平成25年6月から平成26年3月までの収支報告内容をお知らせします。

支出項目の説明	
調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究又は調査委託に関する経費
研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費又は団体等が開催する研修会への参加に要する経費
広報費	会派が行う活動又は市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	会派が行う住民からの市政又は会派の活動に対する要望若しくは意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	会派が要請又は陳情活動を行うために必要な経費
会議費	会派が行う各種会議又は団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費
資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費

平成25年度会派構成

(○は会派代表者)

会派は、同じ考えや意見を市政に効果的に反映させるため、同じ主義・主張を持った議員が集まって結成しています。

【紀新会】

○安達 克典

橋 智史

尾花 功

北田 健治
湯口 好章
塚 寿雄

【誠和会】

○宮本 正信

松下 泰子

山口 進

二葉 昌彦
中本 賢治

【公明党】

○小川 浩樹

出水 豊数

佐井 昭子

【日本共産党】

○久保 浩二

真砂みよ子

川崎 五一

【清新会】

○市橋 宗行

吉田 克己

【くまのクラブ】

○陸平 輝昭

安達 幸治※

高垣 幸司

※印は年度途中に会派へ所属した者

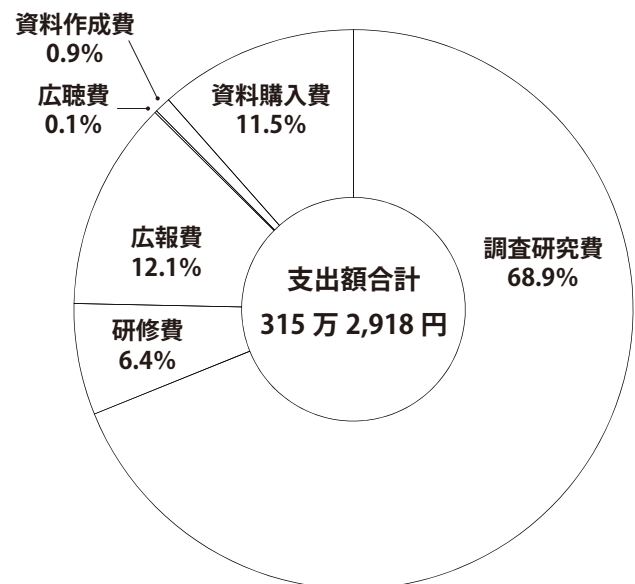
政務活動費使途内訳【会派別】（単位：円） ※は年度途中で解散した会派

所属会派名	紀新会	誠和会	日本共産党	公明党	くまのクラブ	清新会
会派人数	6人	5人	3人	3人	3(2)人	2人
収入	交付額	1,200,000	1,000,000	600,000	480,000	400,000
	預金利息	94	101	53	73	29
	合 計	1,200,094	1,000,101	600,053	600,073	400,029
支出	調査研究費	1,003,856	527,350	0	123,870	266,715
	研修費	90,000	72,067	25,979	0	15,000
	広報費	0	0	381,681	0	0
	広聴費	0	0	4,000	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	29,400
	資料購入費	2,815	190,879	87,795	42,500	38,996
	人件費	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0
	合 計	1,096,671	790,296	499,455	166,370	333,411
	返還額	103,423	209,805	100,598	433,703	213,329
						66,618

下表へ続く

所属会派名	無所属※	合 計
会派人数	(1)人	22人
収入	交付額	120,000
	預金利息	19
	合 計	120,019
支出	調査研究費	0
	研修費	0
	広報費	0
	広聴費	0
	要請・陳情活動費	0
	会議費	0
	資料作成費	0
	資料購入費	0
	人件費	0
	事務所費	0
	合 計	0
	返還額	120,019
		1,247,495

政務活動費使途内訳【全体】



広報委員会から

広報委員会は、昨年の9月27日に常任委員会として設置されました。市民の皆さんへの情報発信機能の充実を図るため、議会における広報全般を所管しています。

本委員会では、まず『田辺市議会だより』や議会ホームページについて、より親しみやすく、より多くの市民の皆さんにご理解いただけるように取り組んできました。

これまで、『田辺市議会だより』の効果的な情報発信について研修・協議を進めてきた結果、今回の議会だよりから一般質問の記事を1ページ4分割とし、質問議員一人当たり一つの枠囲みで掲載することにしました。記事の作成についても、質問議員自身で行い、文章もより簡潔な内容で掲載しています。

これは今のところ試行的な取り組みのため、市民の皆さんからご意見等がありましたら、よろしくお願ひします。



議 会 活 動 日 誌

1 月

16日 広報委員会

2 月

24日 議会運営委員会
27日 本会議（1日目）、
国体関連施設整備特別委員会
28日 本会議（2日目）

3 月

4日 産業建設委員会、文教厚生委員会
5日 総務企画委員会、広報委員会
11日 本会議（3日目）、総務企画委員会、
産業建設委員会、文教厚生委員会
12日 本会議（4日目）、議会運営委員会
13日 本会議（5日目）、文教厚生委員会
14日 産業建設委員会
17日 産業建設委員会、文教厚生委員会
18日 総務企画委員会、文教厚生委員会
19日 総務企画委員会
25日 本会議（6日目）、議会運営委員会、
総務企画委員会、産業建設委員会、
文教厚生委員会

市議会本会議の会議録や録画映像は
インターネットからご覧いただけます

田辺市ホームページを検索

田辺市議会をクリック

次のご覧になりたい項目をクリック

会議録検索

議会録画配信

閲覧・検索

録画映像

ご覧になりたい本会議開催日等を選択

● 田辺市ホームページ

<http://www.city.tanabe.lg.jp/>

● 田辺市議会ホームページ

<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.html>

● 会議録検索ページ

<http://www.kensakusystem.jp/tanabe/index.html>

● 議会録画配信ページ

<http://www.kensakusystem.jp/tanabe-vod/index.html>

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、下記までご連絡ください。

ホームページでは、議会の情報や本会議会議録、録画映像をご覧いただけるほか、声の議会だよりもご利用いただけます。

【連絡先】

田辺市議会事務局

〒646-8545

田辺市新屋敷町1番地

TEL 0739-26-9940（直通）

FAX 0739-25-5579

E-mail: gikai@city.tanabe.lg.jp

<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/>

平成 26 年 6 月定例会の会期日程（予定）

6月定例会の会期日程（案）をお知らせします。
なお、日程は諸事情により変更される場合があります。恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
6	17	本会議1日目（補正予算等関係議案の提案説明、副議長選挙）
	26	本会議2日目（一般質問）
	27	本会議3日目（一般質問）
	30	本会議4日目（一般質問、議案に対する質疑及び委員会付託）
7	1～4、7	常任委員会（補正予算等関係議案審査）
	8	本会議5日目（補正予算等関係議案に係る委員長報告、議案審議）

※本会議の開会時間は、6月17日及び7月8日が午後1時、6月26日・27日・30日が午前10時です。

次回の「市議会だより」

8月号

（6月定例会の報告）



◆お詫びと訂正

議会だより平成26年2月号6ページ「一般質問」記事中、4段目「公民館をまちづくりの中心に」の23行目、「（市）9月議会では…」と記載していましたが、正しくは「（議）9月議会では…」の誤りでした。ここにお詫びして訂正します。